SANYO
人と・地球が大好きです

環　境　報　告　書

２００５

SANYO EVOLUTION PROJECT

新ビジョン「Think　GAIA」
～未来の子供たちへ美しい地球を還そう～

２００５年７月１日、三洋電機は新ビジョン「Ｔｈｉｎｋ　ＧＡＩＡ」を掲げました。
ＧＡＩＡとは、ひとつの生命体のように生きている惑星としての「地球」、そして地球に存在するひとつひとつの「いのち」と、ひとの集まりである「社会」をあらわしています。
三洋電機は、「地球はどう思うだろう」、「いのちや社会に喜ばれるだろうか」と常に問いかけながら、コア技術と将来技術を組み合わせて商品・サービスを提供してまいります。

三洋電機株式会社

滋賀事業所

滋賀事業所の概要

三洋電機株式会社 滋賀事業所は、１９５０年１２月豊かな自然に包まれた美しい「琵琶湖」のほとりで　日本初の「噴流式電気洗濯機」の製造を始めて以来、今日まで洗濯機や電子レンジを中心に、さまざまな製品を日本国内　並びに世界各国に向けて送り出してきました。

しかし、暮らしが豊かになった反面、琵琶湖も含めて地球環境の破壊は、世界中で深刻な問題となっています。

私たちは、琵琶湖という身近な環境を守っていくことを通じて、地球環境問題に真剣に取り組み「環境との共生」を目指します。

◆住所

滋賀県大津市瀬田一丁目１番１号

◆事業内容

家庭用電化製品、業務用機器の開発及び製造

◆主な開発・製造品目

洗濯乾燥機、全自動洗濯機、二槽式洗濯機、衣類乾燥機、
食器洗い乾燥機、
オーブンレンジ、電子レンジ、電磁調理器、
業務用電子レンジ、業務用電磁調理器、
アクアクリーンシステム、業務用洗濯乾燥装置
窒素・リン除去システム

◆敷地面積：８８，７５３㎡

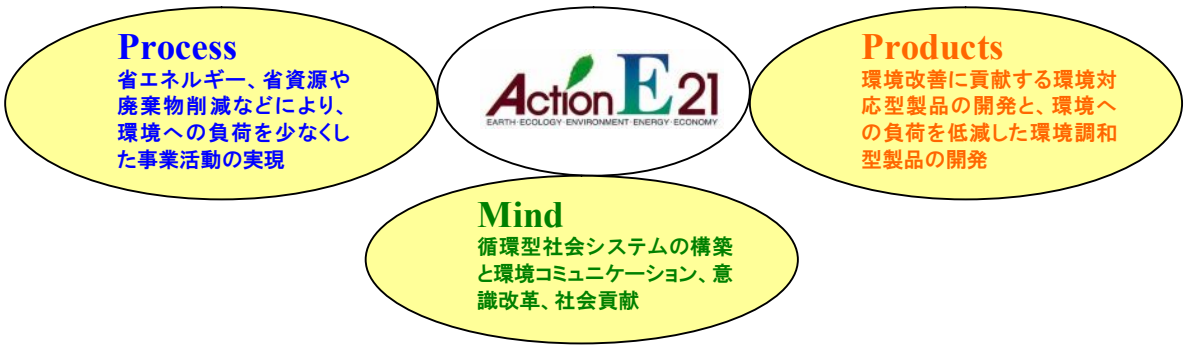
◆第１種電気管理指定工場

◆特定工場の指定：大気、騒音、振動

環境保全活動に係るコンセプト

三洋電機グループの環境保全活動は、経営理念「私たちは 世界のひとびとになくてはならない存在でありたい」ならびにコーポレートスローガン「人と・地球が大好きです」を基本としています。

当社グループは、製造業としての製造工程（Process）と製品（Products）および 企業市民としてのマインド（Mind）の3つの側面から環境問題を捉え、環境方針と環境行動指針に基づき環境保全活動を推進しています。



環境行動指針

１．大切にします。自然･物
２．節約します。　資源･エネルギー
３．使います。　再生資源･リサイクル品･クリーンエネルギー
４．減らします。　ごみ･排水･排ガス
５．参加します。　国際協調･地域貢献活動･緑の保護

ＨＡカンパニー環境方針

私たちＨＡカンパニーは、「三洋電機グループ環境方針」に従い、「Think GAIA(地球の声に耳を傾けよう)」をビジョンに掲げて「地球に喜ばれる企業」をめざし、地球環境保全と豊かで快適な社会が同時実現する「共生進化」を追求します。
このため、ＨＡカンパニーの事業活動（電化機器の製品およびサービスの提供）のすべての段階（研究開発、設計、資材調達、製造、使用、廃棄･リサイクルなど）において、下記の事項に取り組みます。

1．環境マネジメントシステムを確立・維持し、汚染予防の観点から地球規模および経営上の固有の環境課題を把握し、これを解決するために環境マネジメントシステムを継続的に改善していきます。
また、その有効性を確認するため、定期的に監査を実施します。

2．環境関連法規制ならびにＨＡカンパニーが同意したその他の要求事項などの順守はもとより、必要に応じて自主基準を設定し、環境リスクの低減に取り組みます。

3．持続可能な社会の形成に貢献するため、製品づくりにおいては、消費エネルギーの低減、再生材料の有効利用、長期使用、リサイクルしやすい構造、環境負荷化学物質の使用削減などにより環境負荷を低減した「環境配慮型製品」の開発とその普及に努めます。

4．事業活動においては、プロセスの効率化や再生可能エネルギー・再生材料の有効利用などにより、エネルギー消費量や資源投入量の低減を図るとともに環境負荷化学物質の排出削減を行い、地球温暖化の防止、枯渇資源の節約、廃棄物の削減、汚染の防止などに努めます。

5．これらの努力を確実なものとするため、ＨＡカンパニーの環境目的・環境目標を示す「環境行動計画」を設定し、定期的に見直しするとともに、環境経営の質的向上に取り組みます。

(1)環境と経済の共生をめざす製品づくり

環境配慮優良商品の拡大、環境技術開発の推進 に取り組みます。

(2)循環型社会をめざす事業活動

温室効果ガスの排出削減、事業場廃棄物の削減、再生材料の利用推進、事業場化学物質の排出削減、製品含有化学物質の管理推進、製品含有特定化学物質の削減、製品環境品質確保の推進 に取り組みます。

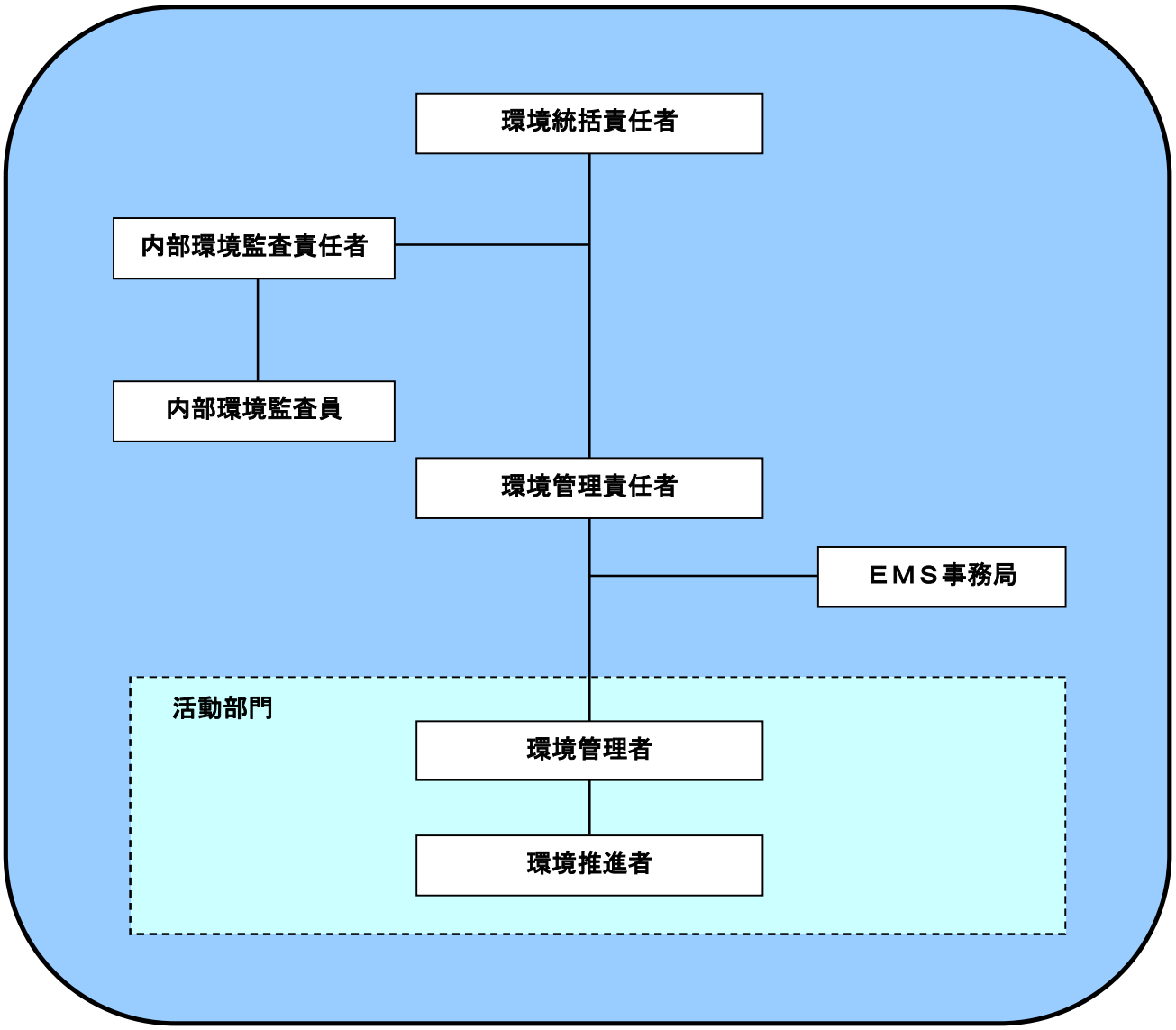
6．従業員を含む組織で働くすべての人および組織に依託されて働く人の環境配慮意識の向上を図るために環境教育・啓発活動を実施します。

7．お客さま、取引先、株主、地域社会の皆様などすべての利害関係者との良好なコミュニケーションをめざし、様々な機会を捉えて、積極的な情報開示に取り組み、対話させていただき、共に地球の未来を考えます。また、ご意見を積極的に取り入れ環境経営の質的向上を図ります。

8．これらのことを確実にするため、ＨＡカンパニー内の必要な範囲においてISO14001などの環境マネジメントシステム認証を維持、あるいは、新規取得するとともに認証範囲拡大を行います。

2005年　7月　1日
三洋電機株式会社
ホームエレクトロニクスグループ
ＨＡカンパニー
社　長　竹内創成

環境マネジメントシステムの推進体制



２００４年度 環境目標の実績（抜粋）

目　　標	実　　績	評価
〈環境配慮型製品の普及〉 ●E21 商品（環境配慮型商品）の売上高を 総売上高の１０％以上にする。	１６％	○
〈地球温暖化対策〉 ●売上高原単位でのCO_2排出量を １９９９年度比３５％以上削減する。	３７％	○
〈廃棄物の削減〉 ●すべての廃棄物の最終処分（埋立処分）率 を１．０％以下で維持する。	０．７１％	○
〈環境負荷化学物質の削減〉 ●ＰＲＴＲ対象物質の使用量を １９９９年度比５５％以上削減する。	７４％	○

２００５年度 環境目標　（抜粋）

項　　目	目　　標
〈環境配慮型製品の普及〉	〈環境配慮型製品の普及〉 ●E21 商品（環境配慮型商品）の売上高を 総売上高の２６％以上にする。
〈地球温暖化対策〉	●生産高原単位でのCO_2排出量を １９９９年度比２０％以上削減する。
〈廃棄物の削減〉	●すべての廃棄物の最終処分（埋立処分） 率を０．６％以下で維持する。
〈環境負荷化学物質の排出削減〉	●ＰＲＴＲ対象物質の使用量を １９９９年度比８０％以上削減する。

環境配慮型製品戦略と開発コンセプト

当社グループでは、製品の開発において環境に対するさまざまな影響を考慮して積極的に環境配慮型製品の開発を推進しています。

具体的には、製品の環境影響の事前評価を行う「製品アセスメント」に基づき、「３Ｒ：リデュース（減量化）、リユース（再使用化）、リサイクル（再資源化）」への対応、また、消費電力の低減、水や燃料の使用量低減などの省エネルギーや省資源への対応、さらには、環境への影響が大きいことから近年特に社会的な話題となっている化学物質の使用禁止や使用削減を図っています。

２００４年度からは、新たに開発する製品において上記のすべての項目について一定水準以上の環境対応を義務づけ、すべての製品を環境配慮型製品にすることとしています。

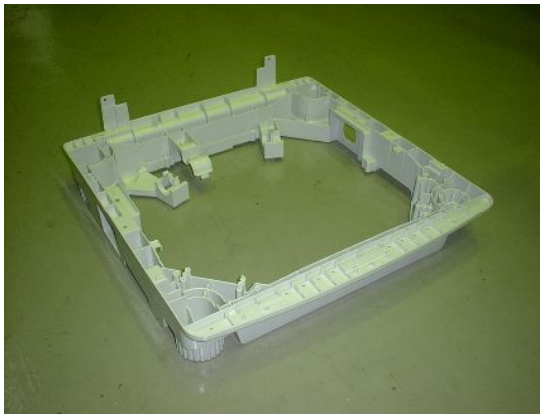
この環境配慮型製品のうち、さらにより厳しい基準値をクリアしたものを「Ｅ２１シリーズ 商品」として登録しています。

Ｅ２１商品マーク

＜洗濯乾燥機の環境配慮請事項＞

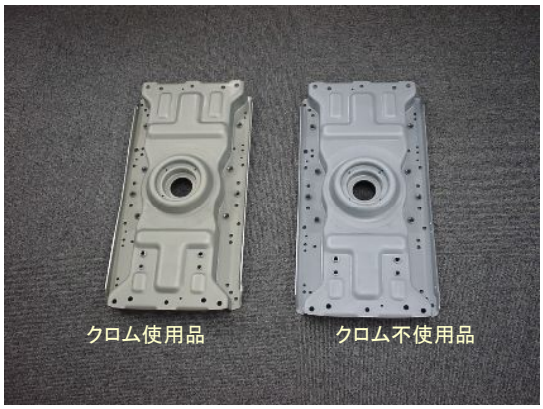
- 節水、省エネを配慮
- 洗剤ゼロコースを搭載
- プリント基板に無縁はんだを使用
- クロムフリー鋼板を採用
- リサイクル樹脂を一部に使用
- 取扱説明書には再生紙を使用

製品の環境配慮の事例



【資源の有効利用】
洗濯乾燥機の脚部品には家電リサイクル工場で回収された再生樹脂原料を30%ブレンドしています。

【リサイクル配慮】
樹脂部品には材料表示を行っています。



【環境負荷化学物質の不使用】
金属部品には、6価クロム不使用の材料を使用しています。
（写真は全自動洗濯機の部品です。）

グリーン調達

近年の環境意識の高まりに伴い、製品に含まれる環境負荷化学物質の削減と不使用への要請が国内外で一段と強まっています。

当社グループでは、こうした要請を受けて2002年5月に従来のグリーン調達のガイドラインを大幅に見直しました。

そして、新たにグループの統一基準をまとめた「グリーン調達基準書」を発行するとともに“グリーン調達第２ステージ”をスタートさせました。

“グリーン調達第２ステージ”では、環境負荷化学物質の管理強化を目指し、2003 年 10 月より資材物品の納入仕様書に「環境情報」を加えることで、納入品に含まれる化学物質を「仕様の一部」であり、かつ「品質の一部」であることを明確に示すこととしました。

さらに、2004 年4 月には　当社の製品に含有する化学物質の基準を明確にした「環境負荷化学物質管理基準」を発行するとともに、管理基準を満たす物品を調達するために仕入先に対して「不使用承諾書」「不使用証明書」の提出を要請し、運用を開始しました。

今後は、これらの基準に則って、「環境保全に積極的な仕入先」から「当社自らが設定した環境配慮の基準に適合した物品」を購入する「グリーン調達」をさらに積極的に推進していきます。

なお、これらの活動は、鉛や水銀、六価クロム、カドミウム、PBB、PBDE の６物質の使用を規制する欧州のＲｏＨＳ指令に対応する取り組みでもあります。

グリーン調達システムのインターネット登録画面

地球温暖化対策

●地球温暖化対策（省エネ対策）として以下の施策を実施しています。

１．２００４年度、２００５年度に実施した施策

１）電力監視システムの導入

２）エアコンプレッサー設備の統廃合　（Ｃｏ２削減効果=年間３０t）

３）変電設備の変圧器統廃合１０台削減　（Ｃｏ２削減効果=年間３７t）

２．１９９８年度よりこれまで実施してきた施策

１）空調設備のデマンドコントロール　（Ｃｏ２削減効果=年間６０t）

２）射出成形機のヒーター断熱施策　（Ｃｏ２削減効果=年間６５t）

３）省エネ型インバータ式エアコンプレッサへの更新　（Ｃｏ２削減効果=年間７４t）

４）省エネ型重油ボイラーの更新他　（Ｃｏ２削減効果=年間９t）

５）高効率変電設備への更新　（Ｃｏ２削減効果=年間１４t）

廃棄物の削減、有効利用

【発泡スチロール（PS）のリサイクル】
これまでは発泡スチロールは、燃料の原料にリサイクル処理の委託していましたが、
更なる有効利用をはかる為、減溶化処理して発泡スチロール原料に再利用しています。

【古紙のトイレットペーパーへのリサイクル】
事業所内での重要書類などシュレッターで処理された古紙を「トイレットペーパー」としてリサイクルしています。このトイレットペーパーは、事業所内のトイレに使用しています。

環境負荷化学物質の管理

▼ 環境負荷化学物質の排出・移動登録＜ＰＲＴＲ法※への対応＞

1997 年度からＰＲＴＲ調査を実施し、ＰＲＴＲ物質を含む材料を正確に把握し排出量削減の対策につなげています。

また、2000 年度からは、環境行動計画において、PRTR 物質の排出量の削減を目標に定め、削減活動を推進しています。

2004 年度は、接着剤やシンナーに多く含まれる「トルエン」で 0.66 トンの大気排出の実績がありました。

今後も、使用量の削減 又は、代替品への切り替え、廃止を計画的に進めていきます。

※特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

▼ 廃ＰＣＢ使用機器の管理

ＰＣＢ含有の使用済み電力用コンデンサ等(ｺﾝﾃﾞﾝｻ 6 台、安定器 308 台を保管)は、「ＰＣＢ廃棄物処理特別措置法※」に基づき、毎年 6 月末までに行政へ定期的に届け出をしております。

これらの機器は、すべてステンレス製の密閉容器に収納し　万一の漏洩に対しても汚染を生じさせない措置を施して厳重に管理しております。

尚、コンデンサ 6 台については、日本環境安全事業株式会社にＰＣＢ廃棄早期登録を行っております。

※ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

緊急事態への対応

　汚水流出などの事故発生に備え、瀬田川への工場排水口において汚水を遮断し、一時的にポンプで汲み上げ組立て式の貯水槽に溜めて、汚染の拡大防止をはかる体制をとっています。

設置場所　：　第１工場　及び　第２工場に各１基　計２基を設置
能　　力　：　１基の貯水能力１０トン（２基使用で約５０分間の対応が可能）

環 境 教 育・訓 練

緊急事態対応訓練

地下重油タンクでの漏洩事故を想定した緊急事態対応訓練を定期的に実施しています。
訓練内容は、重油漏洩発生時の汚染防止として吸収材の配置、連絡方法などの確認です。

リサイクル道場研修

設計ならびに製品企画に携わる者が、家電リサイクルプラントにおいて家電製品の解体を体験しその課題・問題点など、今後の設計段階で考慮しなければならないことを学びます。
この研修で得た経験、知識を製品の企画・設計段階において生かせることを目的としています。

地域社会への貢献

琵琶湖岸の清掃

従業員が、月一回　一斉に湖岸の清掃を実施しています。

工場見学

地域とのコミュニケーションの一環として、学校教育の目的での工場見学を積極的に受け入れています。（大津市内の小学校について受け入れ）

問い合せ先

〒520-2198
滋賀県大津市瀬田一丁目１番１号

三洋電機株式会社
ホームエレクトロニクスグループ
ＨＡカンパニー
経営戦略ユニット
経営企画室
品質・ＣＳ・環境部

ＴＥＬ：０７７－５４３－５６６０
ＦＡＸ：０７７－５４３－５６６６